

議会だより

12月定例会



第1光の子保育園サッカー教室にて「よし、シュートチャンスだ」

- 8 議員による町政への提言 ②
- 暴力団の施設利用を許すな!! ⑧
- 農業委員会活動を支援する決議 他(議員発議) ... ⑩
- 委員会調査 町への提言 ⑪



堀江一男 議員

一般質問

一般質問とは、町長に対して事務の執行状況や将来に向けての考えなどをたずぬもの。
今回8人の議員が行った。

堀江一男 議員 ……P②

- 老朽化した集会所・生活センターの改修を
- 第3次大河原町行財政改革大綱を問う(掲載外)

柘 和也 議員 ……P③

- 当町の子ども政策とそれに伴う経済効果の発揮を

平間孝士 議員 ……P④

- イノシシ被害対策に万全を

佐藤貴久 議員 ……P④

- 目にみえる形で施策の再考を提案する

万波孝子 議員 ……P⑤

- 高く「払いたくても払えない」町民に減免制度の周知と積極的活用を

丸山勝利 議員 ……P⑥

- 当町の農業振興に耕作放棄地の活用を
- 野生動物による農作物の被害対策に万全を期して(掲載外)

岡崎 隆 議員 ……P⑥

- 大河原町スポーツ少年団の活動にサポートを
- 町の公共工事入札の状況は(掲載外)
- 安全で安心な道路の利用を考えて(掲載外)

松井美子 議員 ……P⑦

- なぜ不働保育所を民営化しなければならないの
- 状況変化をとらえて特別養護老人ホーム待機者解消で高齢者の不安をなくして(掲載外)

町政への提言 Q & A

老朽化した集会所・

生活センターの改修を

問

老朽化した集会所や生活センターの建て替えが必要と思われるが、(1)町内にある集会所及び生活センターの中で一番古い

の考えは。

(2)集会所及び生活センターの中で、汲み取り式のトイレは、橋本生活センターと新寺生活センターの二カ所

答

(1)防災機能を兼ね備えた集会所施設と、公園施設の整備が今後の地域づくりにも十分つながることから、その施策としての優先

している。

(3)保留地処分を進めている広表土地区画整理組合の解散時期等を見定め、用地確保を検討している。



柘 和也 議員

当町の子ども政策と それに伴う経済効果の発揮を



▲築40年を越えた橋本生活センター

のは橋本生活センターである。高台にあり道幅も狭く高齢者の方々は利用しにくい状況で、老朽化も進みトイレも汲み取り式で臭いが漂っている。地域の方々は防災施設としても利便性の高い平地への集会所建設と公園を望んでいるが、建設

だけである。新寺生活センターの浄化槽化は考えているのか。
(3)広表地区にも多くの住宅が建設されてきている。いづれ集会所は必要と思われるので用地だけでも確保しておく考えはないか。

度は高いものと判断している。ただし、その立地場所等については、行政区の中で十分に議論がなされ選定されていくべき事と考える。
今後、区と十分に協議をさせていたいただきたい。
(2)新寺生活センターについては来年度での整備を予定

お年寄りにも
やさしい集会所を

ちょっと
ひとこと

問

さて、今少子化が止まらない。わが町の総人口に占める一五歳未満の年少人口の割合は、平成十五年一五・七%から平成二十一年一四・七%と年々少なくなってきた。当町は出生数のほうが死亡数より多くなっているが、このまま何の手立てもしなければ、いずれ近い将来その数値が逆転することは統計調査の推移から見ても読み取れる。
少子化、人口減少社会を改善する手立て、政策を子どもたち、そして町の未来のために真剣に取り組むべき課題である。
(1)町独自に取り組まれてき

た少子化対策、今後取り組もうとしている少子化対策、子ども政策は何か。
(2)民主党政権になり、今後子ども手当が支給される見込みであるが、実際どれだけ子育て支援に対する効果があると推測するか。
(3)子ども手当により町に五億円超のお金が出るが、景気対策に町内で消費させる施策を考えているか。
(4)第五次長期総合計画策定に現政権の子ども政策をどう計画に反映させるのか。

答

(1)乳幼児医療費の無料化を実施している。今後総合的、体系的な対策を

より充実していく。
(2)子育て支援や少子化対策について一定の効果があると考えている。
(3)商工会や商店会等と協議しながら町内での消費を促し、町の活性化につながるよう事業を検討していく。

(4)今後のコラボ会議のなかで、さらに様々な視点から活発な意見を頂き、長期総合計画に反映させていく。

少子化対策、子ども政策
みんなで考え取組もう

ちょっと
ひとこと



▲すこやかな成長を願わずにはられません



佐藤貴久 議員



平間孝士 議員

イノシシ被害対策に 万全を

目にみえる形で施策の再考を提案する

問 平成二十二年度予算編成にあたって事業の見直しを図るべき一部施策を取りあげて議論したい。事業内容その改善策、さらに事業本体の見直しを提案し

②集団資源回収報償金の配分算定基準は実績によるものか。その方向性を見直すべきではないのか。
③家庭ごみの減量化を図ることによるごみ処理経費削

答 (1) カキ殻肥料は、確実な成果は認められていないが、蘇生効果、抑制効果があることから、今後の防除対策の検討課題とする。
(2) 住民のやりがいを喚起す

※3R
1.Reduce (発生抑制)
2.Reuse (再利用)
3.Recycle (再生利用)

てゆき、事業の硬直化が生じないように弾力的に取り組んでいく。

問 十一月二十二日に公明党宮城県本部として、山口代表を交え角田市に入り、野生のイノシシが侵入した跡が残る田んぼや防除用の電気柵の設置状況を調査した。その後、地元住民や自治体関係者との連絡協議会で、大友喜助角田市長が市内のイノシシ被害額が昨年一年間で二千万円を超え、県内で最も多かつたと説明、参加者からは農作物を作る意欲がなくなるほど被害が甚大との切実な声が寄せられた。十一月十三日にも公明党イノシシ対策研修会を亘理町で開催し、イノシシ対策に関する国の政

答 (1) これまで上谷、上大谷、鷲沼地区での被害
(2) 被害農家に対して防護柵、電気柵の補助の考えは。
(3) イノシシ捕獲対策は。
(4) 専門家を招いての研修会を開催してはどうか。
(5) 被害防止計画を作成してはどうか。

イノシシの被害は
身近な問題です

ちょっと
ひとこと



▲町内で駆除されたイノシシ(上大谷地区)

情報が多く寄せられたが、近年は堤、新寺、小山田地区からも情報が寄せられている。
(2) 防護策などへの支援、狩猟免許特にわな猟免許取得の推進をしていく。
(3) 有害駆除隊に依頼して、

わなの設置による捕獲をしている。
(4) 研修会を開催していく。
(5) 計画を作成することにより国からの財政的支援も期待できる。問題点を整理しながら対策を講じていく。



高く「払いたくても払えない」 町民に減免制度の 周知と積極的活用を

万波孝子 議員

「払いたくても払えない」滞納者を多く生み出していることである。鳩山政権は、所得税、住民税の扶養控除廃止で庶民に一層の増税をしようとしている。政治悪がもたらす厳しい町民生活の実態を踏まえ、払えず悩

問 国保税や固定資産税等の未納額は七億一千万円に達し、年々増えている。これは解雇、倒産、廃業、米価下落等に加え、所得税から住民税への税源移譲により住民税が高くなったこと。また、定率減税の廃止も行われ、その結果、課税対象でなかった低所得者や年金生活者も課税されて、

(4) 減免制度の周知徹底を。

む町民に減免制度の活用で救済の手を差しのべては。(1) 国保税、住民税等は負担能力を超える高い税になっていると思うがどうか。(2) 滞納者の主な理由は。滞納者のうち年収二百万円以下の人は全体の何%か。(3) 滞納者の多くは他に電気料、医療費等も滞納し、サラ金返済に困っている場合が少なくない。生活の実態を正確に把握し就学援助や生活保護申請、サラ金解決の相談体制を整備し、行政として命と暮らしを守る責務を果たすべきでないか。



▲伐採の前に有効な対策を

たいテーマが三点ある。(1) カキ殻肥料が松くい虫被害に効果があると指摘されている。当町で散布を実施する予定はあるのか。(2) ①ごみ減量のキーワードである3Rを実践し、循環型社会を形成するため、住民に対する意識啓発の取組み事例とは何か。

減とやりがいの創出による参加団体の活動活性化を促す環境整備を充実すべき。(3) 協働のまちづくり事業交付金、元気なまちづくり活動支援補助金は事業内容に改善はあるのか。今後の課題をどう捉えているのか。

るためにも、報償金からリサイクル奨励制度に転換する。さらにごみ減量化の意識啓発の浸透を図るため、家庭のモデル例を紹介する等、環境整備を充実させる。(3) 二つの事業は次年度も継続する予定だが、事業内容の情報の共有化等、町民の方の目にとどく形で展開し

政権交代したが
貧困と格差が広がるばかり
こんな日本を代えましょう
ちよっと
ひとこと

目に見える形で利益還元を
目に見える形で創意工夫を
ちよっと
ひとこと



▲町税の相談は税務課まで



岡崎 隆 議員



丸山勝利 議員

当町の農業振興に 耕作放棄地の活用を

問

近年、農業を取り巻く環境が激変してきている。中でも稲作農家は、食糧管理制度の崩壊により米価の低迷で収入が大きく落ち込み、玄米の販売収入よりも経費の方が多く農家も少なくない。また低収入のため兼業が多く過酷な労働条件にさらされ、後継者のなり手がなく就業者の平均年齢が非常に高い産業になっている。廃業する農家も増え、耕作放棄地が目立って増えてきた。今後の当町の農業が大変心配される。食糧自給率及び地産地消の観点からも町長の見解は。

(1) 当町の耕作放棄地の面積

と地域は。原因をどう考えるのか。今後の活用見込みはあるのか。

(2) 当町の米や農産物をブランド化しているか。また計画はあるか。
(3) 耕作放棄地を利用し、学校給食の食材を作れないか。また、畑などにして町民に貸し出せないか。

答

(1) 当町の耕作放棄地は、約一四〇haで山間部に多い。厳しい農業情勢や高齢化、農業離れによることと認識している。今後の活用は、今年八月に「大河原町耕作放棄地対策協議会」を設置し、実態や解消

について検討している。
(2) J Aみやぎ仙南が減農薬減化学肥料の「こだわり米」を推進している。今後商工会や地元と協力しながらブランド作りに取り組む。
(3) 耕作放棄地の対策については、対策協議会で農業委

耕作放棄地で
安全安心の食料を
作れないかな

ちょっと
ひとこと



▲稲刈り中の田の隣には休耕地が

員会が主体となり、学校給食への提供や町民農園等の利用も含め検討する。

大河原町スポーツ少年団の 活動にサポートを

問

大河原町スポーツ少年団は現在一九団体、三六〇人の加入児童がおり、熱意にあふれる指導者に支えられ活動している。しか

ら町の考えはどうか。

(1) これまで、町は少年団活動にどのような補助を行ってきたのか。
(2) 景気後退の影響で少年団

うに優先順位を考えるのか。

(4) 夜間の屋外練習施設の設備を今後設置する計画はあるのか。

たちのスポーツ振興、充実に図っていきたい。

(4) 夜間に照明付きの体育施設の設置計画は地理的要因、住宅事情の面から、今後の計画は難しい。



松井美子 議員

なぜ不動保育所を 民営化しなければならないの



▲寒風の中でも練習に励んでいます

問 町の民間活力導入推進計画に基づき、不動保育所の公設民営を平成二十三年度実施に向け検討しているが、

(1) 不動保育所の公設民営をめぐす理由と町が求める効果とは。

(2) 平成二十年度の指定管理者管理導入の見送りで、不動保育所の管理運営にどのような支障が生じているのか。保護者の声を集めているのか。

(3) 待機児童数に数えられていない入所希望児童が0歳から五歳の全年齢段階に合わせて八人いる。これをどう受け止め、解消策について話し合っているか。

し、昨今の経済不況等の影響で加入児童の増加がみられず、地の利に恵まれた環境にありながら、施設面では他町村に一步先を越されているのが現状である。今後はさらなる少年団へのサポートが必要であることか

答 (1) 民間活力導入は住民へのサービス向上、地域経済の活性化、財政運営の効率化を図るためである。町立、私立保育所各々の担う役割と、より良い保育サービス実現するため。

(2) 現在、特に支障はない。

(3) 先の質問を踏まえ税収が減ることが予想されるが、子どもたちのスポーツ振興に対して町側が今後どのよ

(4) 通常保育、延長保育、乳児保育に加え、桜保育所同様に障害児保育も行い、子どもの豊かな発達と成長に力を注いでいる。この事の評価は。

(5) 現在でも定員一二五%まで児童の入所ができる。厚労省の都市限定の面積最低基準緩和の方針をどう受け止めるか。

に加入したくても、続けたくても断念せざるを得ない子どもたちが増えていることを認識しているか。

(3) 先の質問を踏まえ税収が減ることが予想されるが、子どもたちのスポーツ振興に対して町側が今後どのよ

短い子ども時代を
しっかり保障して
あげたいわね

ちよっと
ひとこと

答 (1) 昭和五十三年十一月結成以来、活動補助(年額七万四千円)を交付してきた。

(2) 詳しく把握していない。今後、現状把握に努める。

(3) 『スポーツを通じた青少年の育成』を掲げ、子ども

保護者から「移行する際は児童への配慮を」の意見を収集している。

(3) 八人のうちほとんどの保護者は求職中で保育に欠ける状況ではない。解消策は検討している。

(4) 現在二人の障害児を受け入れ、児童の成長に合わせ

答 (1) 昭和五十三年十一月結成以来、活動補助(年額七万四千円)を交付してきた。

(2) 詳しく把握していない。今後、現状把握に努める。

(3) 『スポーツを通じた青少年の育成』を掲げ、子ども

指導者や
子どもたちの想いが
届いていますか

ちよっと
ひとこと

た保育を行っている。

(5) まだ報道だけの情報で、詳細が明らかになつていないので応えるのは難しい。



▲不動保育所・保育風景

暴力団の施設使用を許すな

第9回定例会は、12月9日から17日までの9日間の会期で開かれた。今定例会では暴力団の公の施設使用を禁止する条例の制定を始め、13の提案を審査し、すべて可決した。

暴力団の施設利用を禁止

暴力団員による不当行為が全国的に多発。公の施設は民間の施設と比較し、低料金で様々な興行が行えることから、暴力団の活動資金源を断つことを目的に、宮城県警察と県内各自治体が連携し、公の施設から暴力団を排除するため、施設管理者と施設管理権の強化による暴力団排除対策を行うもの。県内同一での推進が有効であり、暴力団関係者の利用禁止条項などを含む条例を定めるもの。

問 条例は宮城県だけの提案か。県内には何名いるのか。

答 県内では一斉に制定をするが、二自治体が遅れる。他の県では、神奈川県と広島県でも制定している。県内には一八四〇人ほどいる。

※公の施設とは、町が所有する体育館・公民館などの施設をいいます。

交通安全指導員・防犯指導員の

手当を見直し

費用弁償として月額一五〇〇円を支給している指導員の出勤に対する手当を、出勤の回数に応じて支給する出勤手当「二二二〇〇円」に改正する。併せて年額の報酬を交通安全指導員は減額、防犯指導員は隊員を除き増額改正する。

問 改正するにあたり、指導員と十分協議し、報酬は課税対象になること等、納得を得た上での提案なのか。

答 交通指導員は大筋で了解を得ている。防犯指導員は幹部と協議、可決後指導員に知らせる。



▲町総合体育館



▲通学路にて児童の安全を守ります

区長の費用弁償を見直し

費用弁償として支払っている区長の手当を報酬として支出できるように条例を改正するもの。

問 改正後の平均報酬年額は。最高額と最低額は。

答 平均額は五万九五〇〇円、最高九万円、最低四万五〇〇〇円。

十一月定例会

一般会計

主な補正予算

収入

町税（法人税）

△二、八〇〇万円

保育児童保護者負担金

二二六万円

し尿汲取券売捌手数料

△一五〇万円

道路整備事業補助金

九三五万円

県民税徴収委託金

三四四万円

金ヶ瀬中東線整備事業借入

三、〇八〇万円

支出

心身障害児通園事業負担

三〇三万円

身体障害者更生医療給付

三〇〇万円

金ヶ瀬中東線道路用地取得

一、〇四六万円

金ヶ瀬中東線家屋補償

一、七九〇万円

公共下水道事業繰出金

△二二一万円

職員人件費

△一、二八七万円

消防団員の手当を見直し

消防団員への出勤に対する手当を費用弁償(一五〇〇円)から、出勤の回数に応じて支給できる出勤手当(二二〇〇円)に改正。

問 夜間の火災の際、消火後の居残りで日をまたいだ場合、一回とするのか、二回とするのか。会議だけの時はどうするのか。

答 日をまたいでも一回として支給する。会議だけの場合、支給はしない。



▲H21消防団消防演習風景

請願

道の駅整備事業の撤回を

町が進めている道の駅整備事業に関する平成二十一年度予算の凍結及び、平成二十二年以降において道の駅整備事業が推進されることなく撤回されるよう求めるもの。

紹介議員

- 岡崎 隆
- 堀江一男
- 枘 和也
- 万波孝子
- 松井美子

この請願は金ヶ瀬道の駅調査特別委員会に付託し、閉会中に審査を行うこととなった。

十一月臨時議会

国の人事院勧告をうけて町三役・職員・議員の給料・報酬をカット

第八回臨時会は十一月二十五日に行われ、国の人事院勧告に基づき給料等のマインラス改定を行った。併せて、議員発議により、議員報酬等も改定を行い、原案どおり可決した。

町長・副町長・教育長

三役の給料を〇・六%引き下げ、期末手当の支払月数を〇・二カ月分引き下げ、年間三・二カ月分を三・一カ月分とする。

職員の給料と

住居手当のカット

職員の給料を平均〇・二%引き下げ、自宅に係る住居手当、月額二五〇〇円を廃止する。また期末手当の支給月数を〇・三五カ月分引き下げ、年間四・五カ月分を四・一五カ月分とする。

〔反対討論〕

松井美子議員

職員給与の引き下げは、職員の暮らしを直撃し、労働意欲低下にもつながる。加えて地域労働者の賃金引き下げに拍車がかかる。町経済に及ぼす影響が大きい。大企業の社会的責任の追及を国に求めよ。

〔賛成討論〕

堀江一男議員

職員の生活も大変であるが、中小企業の倒産や職を失った方々も増えて

いる状況からして、人事院勧告どおりの実施はやむを得ない。職員組合とよく協議をし、職員にも十分理解していただきたい。

議員報酬と

期末手当のカット

議員の報酬を〇・六%引き下げ、議長三二万五千円、副議長二六万五千円、議員二五万四千円に引き下げる。また、期末手当の支給月数を〇・二カ月分引き下げ、年間三・三カ月分を三・一カ月分とする。

議員報酬及び期末手当の削減は、昨今の厳しい情勢を十分認識し、議員自ら率先して提案するものである。※人事院勧告

民間企業と国家公務員の給与水準を比較して、金額の格差をなくすことを目的に国会に提案すること。

人事案件

教育委員会の委員に任命

舟山 幸枝氏



(賛成多数で同意)

固定資産評価審査委員に任命

富川 一男氏



(全員賛成で同意)

議 員 発 議

(全て全員賛成で可決)

農業委員会の活動を支援する決議

提出者 半澤敏美議員

農地法改正に伴い、農業委員会の活動に対する支援と体制整備が重要になったことにより、実務に精通した職員の確保を図るべき。

中小業者の家族従業者の労賃を必要経費と認めよ

提出者 万波孝子議員

配偶者及び親族が働いた給与の支払いは必要経費に算入しない、の所得税法を改正し、経費として認めることを要望するもの。

父子家庭も母子家庭と同様の支援を認めよ

提出者 万波孝子議員

ひとり親家庭への平等な支援のため、父子家庭についても母子家庭同様、児童扶養手当が支給されるよう法改正を強く要望するもの。

政府予算を年内に編成し、地方自治体を安心させよ

提出者 万波孝子議員

自治体は政府の来年度予算編成に対する基本的な考えが明確でないため、来年度予算編成に戸惑っている。政府予算の明確な方針を求めるもの。

多重債務者の相談窓口を充実せよ

提出者 万波孝子議員

深刻な多重債務者問題を解決するため、貸金業法の改正法を早期に完全施行すること、自治体の相談窓口の充実を強く求めるもの。

最低賃金を全国一律とし、暮らせる金額を保障せよ

提出者 松井美子議員

暮らせる最低賃金の確立と中小企業の対策の強化、地域格差をなくすための全国一律最低賃金制度の確立に向けた対応を求めるもの。



議 会 活 動 日 誌

今回は10月・11月・12月の活動報告をいたします。

10月

1日 議会広報委員会
13日～15日 産業建設常任委員会視察
(青森県青森市・弘前市)

20日 議会運営委員会
第七回臨時会本会議

22日 議会広報委員会
28日～30日 総務文教常任委員会視察
(新潟県南魚沼市・長野県岡谷市)

11月

9日 議会運営委員会
11日 産業建設常任委員会
所管事務調査

18日 総務文教常任委員会
所管事務調査

25日 議会運営委員会
第八回臨時会本会議

12月

8日 議会運営委員会
9日～17日 第九回定例会本会議

17日 議会運営委員会

委員会調査 町への提言

総務文教常任委員会視察

保育所の公設民営の
先進地に学ぶ・
買い物ポイントで
公共料金の支払いを

新潟県南魚沼市では保育園の老朽化で新築を機に民間に委託。移行に当たっては、移行期間を十分に設け、園児の不安解消が特に大切とのこと。保護者、住民、保育士への説明会を十分に行う事が重要であると考えられ、同じ資格を持つ保育士が行うので、保育の質も変わらずデメリットにはならないと思われる。

長野県岡谷市では岡谷スタンプ協同組合が発行するポイントで公共料金等の納付ができる事によって、組合加盟店の利用が促進され地域振興が図れるとともに公共料金の納付方法の一つとして、市民の利便性を高める効果がある。

認知度は高く発行枚数は約世帯数ほどとなっていて、今後ボランティア等福祉分野との共同運営を検討しているとのこと。

産業建設常任委員会視察

自然の地の利を生かした
道の駅・自治体の雇用
促進対策

青森県青森市にある道の駅ゆーさ浅虫を視察。平成十二年度から公設公営で運営されてきたが、平成十八年度より指定管理者制度に移行。海、山の自然豊かなこの地を訪れるドライバーが気軽に立ち寄れる展望温泉付きの施設を建設。隣接する水族館、海浜公園、温泉街への観光客を呼び込もうと地元の雇用を最優先とすることで住民の理解を得て運営。業績は今一つで、視察翌日の地元新聞には県の審査により、抜本的見直しが必要との記事が載った。

弘前市役所にて市の新規高校卒業生雇用奨励金制度、平成二十一年度農商工連携対策支援補助金認定制度、平成二十一年度弘前市新品新技術開発支援補助金制度について研修。

所管事務の調査報告

総務文教常任委員会

民間活力導入には
十分な協議が必要

不動産保育所が老朽化、手狭なことから建て替えが検討されているが、建て替えにあたって運営方法も検討される。効率化等から民間活力を導入する方法も考えられ、導入に際しては、保護者、住民、職員との十分な協議、説明が必要である。



産業建設常任委員会

広表土地区画の保留地
販売に更なる努力を

事業計画、現在までの保留地処分の経緯、借入金の返済状況、今後の想定、『処分の促進、環境整備、計画完了目標、清算業務』について調査。三年後の完売は大きな努力が必要。価格の再検討、学区割、行政区の見直しも見据えた環境整備が急務である。



桜町三区 清野 忠



私は駅前で営業を始めて一年三カ月になります。昨年にぎわいを経験したのは、四月のお花見、そして八月の花火大会の時期と記憶しています。その他はさびしい毎日です。失速してしまった駅前再開発、残された感のオーガビル、なんとかこのビルを再び利用はできないものか。例えば、託児所、今不足している事業所の一部に再利用するなど、時代に乞われる施設に利用してはと思います。町政も変化すべき時代だと思えます。失敗は失敗として、新しく大河原町独自

3月議会のお知らせ

議会を傍聴しませんか
 招集日 3月 4日
 再開日 3月10日
 詳細は議会事務局まで
 ☎53-2800

のプランを進めていただきたい。財政難の中、場当たり的な案、道の駅などは試験的にオーガのビルを使ってみるなどの慎重が必要かと思えます。現に空きスペースが目立つビルなので、新しい物好きの町政でない、町政を期待します。十分吟味し、今ある建物の再利用などの執政をお願いします。

箱ものに予算を預けず、ソフトプランに予算を回し、学校、病院、保育、老人施設と福祉充実に期待します。

議会広報編集会議

十一月十三日、仙台市自治会館で議会広報研究会が行われ、ありのままに、わかりやすく、住民とともに題した広報づくりの研修を受けた。議会広報が住民のものである限り、ガラス張りに、読者の声を大事に、読んで理解でき親しみやすくなければならない。

紙面に住民が登場し、対話のある広報になるよう委員一同そのことを認識し、今後の紙面づくりに活かしていきたい。



街かど ワンショット



お正月、テレビで放送された高校サッカー選手権の宮城県代表東北高校で大河原町在住の選手が活躍していたのをご存じでしたか。

日野竜馬君（本町2区）は大河原サッカースポーツ少年団出身で、副キャプテン及びディフェンダーの要とし、2回戦では自ら得点するなどの活躍をしました。卒業後も進路先でサッカーを続けるとのことです。さらに上を目指し頑張ってくださいね。

編集後記

新しい編集委員になって三号目の議会広報です。表紙の字体や色づかい、文章など「読んでみたい」と思っていただけよう委員会です。工夫してきました。十二月議会では新型インフルエンザ対応や職員給与引き下げ反映の補正予算、交通安全指導員、防犯指導員、消防団員の方々に日払いされていた費用弁償を出勤回数で支払う出勤手当に改めるなどの条例改正もありました。文章では日常的な言葉使いに心がけましたがいかがだったでしょうか。

(松井)

編集発行責任者

議会 議長

佐々木守伸

議会 副議長

堀江 一男

議会 委員

万波 孝子
 丸山 勝利
 岡崎 隆
 松井 美子
 和也